

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 4 回		
事 務 局	公民館貫井北分館		
開 催 日 時	平成 2 6 年 1 1 月 4 日 (火)		
開 催 場 所	公民館貫井北分館 学習室D		
出 席 委 員	小川委員、宮崎委員、師岡委員、吉田委員、若井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	倉橋副理事長、村山分館長、伊藤副分館長、野津、星		
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1 報告事項 1) 11 月 開催中の講座について ① 即興ダンスにチャレンジ！ ② はなみずき学級 ③ フォト&スクラップブックング講座 ④ 四季の花づくりーきたまちセンターを花で飾ろうー ⑤ レッツクリエイト！若者コーナーーいい公民館作戦 会議ー 2) 進捗状況について		

- ① 子育て・子育て支援
- ② 地域の芸術活動支援
- ③ 市民講座
- ④ 市民講座 福祉関連講座
- ⑤ 成人学校 北町ホール健康づくり
- ⑥ 成人学校 地域研究
- ⑦ 成人学校 市民が自主的に企画
- ⑧ 若者コーナー
 - a) レッツクリエイト！若者コーナー
 - b) きたまちゼミ
 - c) きたまちキッチン
 - 親子クッキング編・若者クッキング編
 - d) (仮) ダンスレッスン

2 審議事項

貫井北センターまつりについて

3 その他

公民館事業評価シートについて

会議内容	1 報告事項 師岡：11月開催中の報告をしてください。 野津：即興ダンスは、参加者も慣れてきています。小学生や中学生は表現が豊かです。 師岡：みなさん身体がしなやかに動くようになっています。このチャレンジは素晴らしいと思います。 野津：はなみずき学級の報告をします。アンチエイジングの講座をひらきました。講師は80歳代の方で、わかりやすく、楽しくて、前向きな姿勢になれました。 吉田：講師が手書きの資料を貼っていました。自分の体験と実績を元に話すので、内容が印象に残りました。 若井：先生はよく勉強されているかたですね。 星：フォト&スクラップブックの報告をします。まず、第1日目のフォト講座、第2日目のスクラップブック講座（基礎編）を終了しました。デジタルカメラの使い方と、写真の活用法を学びました。 吉田：受講者の皆さんが熱心でした。保育もついて、お母さん方が2時間を有意義に楽しんでいらっしゃいました。専用の道具を使うのも楽しそうでした。 師岡：楽しい講座なので、もう少し人数を増やして受け入れられたらいいですね。最初は質問ができなかった方も、次第に講師に上手く話しかけられていました。 師岡：次は、今後の企画の進捗状況を報告してください。 伊藤：レッツきたまちゼミを、小川さんと一緒に企画しています。市報11月15日号で募集します。ちらしは視覚的に訴えるものを作成中です。 小川：どのように講師の先生が取り組んでいくのか、見て
-------------	--

みたいと思います。

師岡：夜は若い世代がたくさん来館していますね。

伊藤：ロコミで来館するようです。利用の際は、自主的な抑制が効いているようです。

若井：国際交流センターでも若い人が集まっています。

伊藤：利用者間の問題があれば、自分たちで判断して少しずつ解決しているようです。公民館は、自分たちが思っていることを声に出せる場所であることを知ってもらいたいと思います。

星：子育て・子育て支援です。心の中の不安や悩みと上手につきあう方法を取り上げます。3回連続の講座で、アンガーマネジメントコントロールが2回、生活リズムが脳内環境に及ぼす影響についての座学が1回です。市報1月15日号に掲載し、2月の金曜日に実施します。

小川：子育て中の保護者の不安が解消されれば、家の中が変わります。先生の話聴いて勉強するというのも、保護者にとって良い機会となります。

星：市民講座です。アジア地域の時事問題を取り上げます。講師から現状のニュースの解説や、理解するヒントをいただき、今後の時事問題に興味を持ち続けてもらうことが狙いです。

小川：日本のような大きな枠組みだけでなく、小金井市が直面している問題も取り上げてください。

師岡：次回、提案するとよろしいですね。

野津：市民講座（福祉関連）です。全国で認知症カフェが広まっています。カフェの取り組みの紹介と、認知症についても勉強する講座にしたいと思います。

若井：にし包括支援センターでも相談をやっていますね。

小川：市民活動を含めると、いろいろなグループが活動していますが、連携できると良いですね。

野津：北町ホールを活用した健康づくりです。楽しく身体を動かしながら脳の機能を活性化するプログラムを実施します。20人を募集します。

若井：人数は増やせますか。

野津：身体を動かしますので、会場がいっぱいになると思いますが、講師と相談します。

野津：地域研究です。貫井北町の周辺に注目し、貫井囃子と小金井桜について取り上げます。詳しい内容は、今後講師と打合せして決めます。

村山：市民が企画する自主講座です。公民館は20～30代の方の利用が少ないので、貫井北分館を利用していただくきっかけづくりが狙いです。恋愛に関する関心事を中心にして、コミュニティづくりを進めていきたいと思います。連続3回の講座で、基調講話、意見交換会、親睦を深める会の構成です。1月18日、25日、2月1日の日曜日に実施します。市報12月15日号に掲載します。定員は20人です。参加申し込みが少ないと思いますので、周知方法など、ご協力をお願いいたします。

伊藤：若者コーナーです。「きたまちキッチン」は、貫井北分館で初めて生活室を使った講座となります。まちの先生を呼んで、斜めの関係を築きます。また、利用の少ない層を公民館に惹きつけたいので、ダンスを通して自己表現をする講座を企画しています。男女共同参画講座は、きたまち保育サポーター講座で

す。貫井北分館における保育ニーズを担うためのものです。

小川：何か資格がとれるのですか。

伊藤：資格を与えるものではありません。貫井北分館で保育を担当するために保育についての知識をつけていただく、というものです。

小川：講座のあとは保育サポーターとして活動していくのですね。

伊藤：保育に関わることで、男女の生き方に関する認識や世代間の交流を深めていただけたら、と思います。

小川：高齢者がこうした取り組みに参加することによって、地域での活躍の場を見いだせると良いですね。

伊藤：募集では、子育て経験は不問、20歳以上の男女、20人です。市報12月15日号で募集します。

2. センター祭りの記念イベントについて

野津：来場者が増えるようなものだと思います。

若井：コンサートでしょうか。

吉田：年齢や性別に関係なく、多くの世代で楽しめるものが良いですね。

小川：東京学芸大学の先生をお呼びしてはどうですか。

若井：小金井市内の文化はどうでしょうか。

師岡：市内には民謡や歌謡曲の団体も多いですね。先生にお願いしてはどうですか。

野津：音楽・落語などのパフォーマンスが良いと思います。施設を考慮したいので、希望を教えてください。次回、詳細を詰めます。

3. その他

村山：事業が終了しましたら、企画実行委員のみなさんに事業評価シートを記入していただきます。わからないことがありましたら随時説明します。

次回の開催は12月2日（火）です。よろしくお願いします。